

# 平成27年度 共同研究・研究集会 一覧

防災研究所は、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として、多くの共同研究を実施しています。ともに共同研究を行うのは、国立大学法人、公・私立大学、国公立研究機関及び国立研究開発法人機関の教員・研究者又はこれに準ずる方々です。

今年度に採択された共同研究・研究集会を以下にまとめます。

## 1 一般共同研究 研究課題等を公募し、防災研究所内外の研究者が協力して進める共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門
26・27	「阪神・淡路20年」の記憶を伝える －「Disaster Eve」と「定点観測＋（プラス）」の取り組みを通じて－	船木 伸江／ 神戸学院大学防災・社会貢献ユニット	矢守 克也／ 巨大災害研究センター
	高速で桜島火道内を上昇するマグマを、高品位重力連続データ・宇宙線軟成分観測・地殻変動連続観測で視る	大久保 修平／ 東京大学地震研究所	山本 圭吾／ 火山活動研究センター
	地域防災へ適用するための簡便な斜面危険度評価手法の開発	藤本 将光／ 立命館大学理工学部	藤田 正治／ 流域災害研究センター
	大阪湾GPSと超高解像度レーダーを用いた大阪湾域の極端気象予測精度の向上に関する研究	大石 哲／ 神戸大学都市安全研究センター	山口 弘誠／ 気象／水象災害研究部門
	高潮・波浪災害リスク軽減に向けた台風通過時の海洋構造および大気－海洋－地盤相互作用に関する現地調査	内山 雄介／ 神戸大学大学院工学研究科	森 信人／ 気象／水象災害研究部門
	不確実性を伴う災害情報の表現方法に関する言語学的検討	新井 恭子／ 東洋大学経営学部	本間 基寛／ 水資源環境研究センター
	コンクリートブロックの乾式組積による組立制震壁の開発	山口 謙太郎／ 九州大学大学院人間環境学研究院	川瀬 博／ 社会防災研究部門
	Real-time personal seismic risk mitigation via structure-specific early warning systems	Iunio Iervolino／ University of Naples, Federico II	倉田 真宏／ 地震防災研究部門
	津波を起こした湖底地すべりの探索とその形態学的研究	山崎 新太郎／ 北見工業大学	松四 雄騎／ 地盤災害研究部門
	制振素材による木造住宅の耐力劣化抑制に関する研究	那須 秀行／ 日本工業大学	川瀬 博／ 社会防災研究部門
27	ジャカルタにおける豪雨予測への都市活動情報導入とその精度評価	相馬 一義／ 山梨大学大学院医学工学総合研究部	田中 賢治／ 水資源環境研究センター
	歴史的組積造建物を対象とした組積壁面外耐震補強技術の開発	保木 和明／ 北九州市立大学国際環境工学部	中島 正愛／ 地震防災研究部門
	精密水準測量による2014年噴火以降の御嶽山の圧力源変化の解明	村瀬 雅之／ 日本大学文理学部地球システム科学科	中道 治久／ 火山活動研究センター
	建造物群との衝突を考慮した多数の津波漂流物輸送の大規模モデル実験と並列数値解法の検証	牛島 省／ 京大学術情報メディアセンター	米山 望／ 流域災害研究センター
	急流河川における流域一貫の流木マネジメントに関する研究	高橋 剛一郎／ 富山県立大学工学部	角 哲也／ 水資源環境研究センター
	無人ヘリによる口永良部島火口周辺域における地震観測点の再構築	大湊 隆雄／ 東京大学地震研究所	中道 治久／ 火山活動研究センター
	大都市に伏在する中近世城郭遺構の地盤災害リスクに関する検討	古川 匠／ 京都府教育庁指導部文化財保護課	釜井 俊孝／ 斜面災害研究センター
	UAV（Unmanned Aerial Vehicle）を用いた高層気象観測技術の開発	佐々木 寛介／ 一般財団法人日本気象協会	井上 実／ 気象／水象災害研究部門
	森林が強風時の融雪特性に及ぼす影響の実験的研究	阿部 和時／ 日本大学生物資源学部	松浦 純生／ 地盤災害研究部門
	集中豪雨時の消防団活動の実態把握とクロスロードによる教材開発	松村 暢彦／ 愛媛大学大学院理工学研究科	矢守 克也／ 巨大災害研究センター

## 2 萌芽的共同研究 自由な発想に基づく小人数の構成による研究の支援を目的とします。

研究年度	研究課題	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門
27	洪水河川のリアルタイム流量観測を目的とした自律制御水中ロボット の試作開発	山上 路生／ 京都大学大学院工学研究科	川池 健司／ 流域災害研究センター
	Shear-induced frictional instabilities and acoustic emissions in granular materials: their roles on better understanding landslide dynamics	Yao Jiang／ Graduate School of Science, Kyoto University	王 功輝／ 斜面災害研究センター
	Text Encoding Initiativeにもとづく古地震史料のマークアップ方式の 検討	橋本 雄太／ 京都大学大学院文学研究科	加納 靖之／ 地震予知研究センター
	次世代気象衛星ひまわりでみる京阪神地域のヒートアイランド現象	奥 勇一郎／ 兵庫県立大学環境人間学部	石川 裕彦／ 気象・水象災害研究部門
	静止衛星赤外データを用いた中緯度域雲頂高度データの作製および それを用いた梅雨期および夏季雲システムの解析	西 憲敬／ 福岡大学理学部	向川 均／ 気象・水象災害研究部門
	地下水観測網が捉えた地震に伴う地下水の挙動	木下 千裕／ 京都大学大学院理学研究科	Mori,James Jiro／ 地震防災研究部門

## 3 一般研究集会 防災学研究の関連分野における萌芽的な研究に関するテーマ又は興味深いテーマについて、全国の研究者が、集中的に 討議するものです。

研究集会名称	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門	開催予定日*
平成27年度 自然災害に関するオープンフォーラム 「2014年8月豪雨により広島市で発生した土石流災害の実態解明と防災対策」	山本 晴彦／ 山口大学農学部	寶 馨／ 社会防災研究部門	平成27年9月23日
国際応用地質学会(IAEG) 第10回アジア地域会議 テーマ：アジア地域の地質災害の軽減に向けて	長谷川 修一／ 香川大学工学部	千木良 雅弘／ 地盤災害研究部門	平成27年 9月26日～27日
複合系台風災害のメカニズムに関する研究集会 -気象学・海洋学・海岸工学・土木工学・建築工学・生態学を交えて-	筆保 弘徳／ 横浜国立大学教育人間科学部	竹見 哲也／ 気象・水象災害研究部門	平成27年 9月14日～15日
The 8th International Gravel Bed River Workshop	里深 好文／ 立命館大学理工学部	藤田 正治／ 流域災害研究センター	平成27年 9月14日～19日
南海トラフ巨大地震とスロー地震との関連性の解明を目指して	廣瀬 仁／ 神戸大学都市安全研究センター	伊藤 喜宏／地震予知研究センター 西村 卓也／地震予知研究センター	平成27年 9月 (3日間)
自然災害科学としての地学教育 -防災・減災知識の普及に向けて-	福田 洋一／ 京都大学大学院理学研究科	飯尾 能久／ 地震予知研究センター	平成27年 8月29日～30日
モルフォダイナミクスの最先端	泉 典洋／ 北海道大学大学院公共政策学連携研究部	堤 大三／ 流域災害研究センター	平成27年 10月16日～17日
新世代SARがもたらす災害・環境モニタリングの進展	大村 誠／ 高知県立大学文化学部文化学科	橋本 学／ 地震予知研究センター	平成27年 9月15日～17日
巨大災害・極端気象災害を生き抜く減災社会の形成を目指す防災 ネットワーク形成のための研究集会 (防災計画研究発表会2015)	高木 朗義／ 岐阜大学工学部	畑山 満則／ 社会防災研究部門	平成27年9月25日～26日、 12月26日
総合的防災教育の構築に関する研究集会	中井 仁／ 小淵沢総合研究施設	矢守 克也／ 巨大災害研究センター	平成27年8月23日

\* 研究集会の開催日は変更される可能性があります。防災研HPで最新情報をご確認ください。

## 4 長期滞在型共同研究 国内外の研究者が防災研究所に比較的最長い期間(1か月から10か月)滞りながら共同研究を実施するものです。

研究課題	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門
Reduced dimension surge models for high accuracy operational forecasts	Andrew Kennedy／University of Notre Dame	森 信人／ 気象・水象災害研究部門
Estimating landslide detachment surface from slope surface morphology	Michel Jaboyedoff／Risk-group - ISTE - Institute of Earth Sciences University of Lausanne	千木良 雅弘／ 地盤災害研究部門
Understanding the role of episodic erosional processes in shaping the Japanese mountains	Alexandru T. Codilean／University of Wollongong; School of Earth & Environmental Sci.	松四 雄騎／ 地盤災害研究部門
Understanding tsunami flow and energy from deposits' AMS	Gomez Christopher／University of Canterbury, College of Sciences, Dept. of Geography	平石 哲也／ 流域災害研究センター

**5 短期滞在型共同研究** 国内外の研究者が短期（2週間程度）滞在して共同研究を実施するものです。

研究課題	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門
Flood risk assessment in the megacity jakarta considering land-use and climate changes	Apip／Research Centre for Limnology, Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	中北 英一／ 気象・水象災害研究部門
Investigation on the prediction approaches of freak waves	Aifeng Tao／ Hohai Univeristy	森 信人／ 気象・水象災害研究部門

**6 重点推進型共同研究** 自然災害研究協議会が企画提案する共同研究で、自然災害や防災に関する総合的な研究や協議会として重点的に推進しようとする共同研究です。

研究課題	研究代表者／所属機関	所内担当者／所属部門
突発災害時における初動調査体制の拡充および継続的調査研究の支援	中川 一／自然災害研究協議会 (京都大学防災研究所)	橋本 学／地震予知研究センター 川池 健司／流域災害研究センター
自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用に関する研究	中川 一／自然災害研究協議会 (京都大学防災研究所)	橋本 学／地震予知研究センター 川池 健司／流域災害研究センター

**7 拠点研究** 全国共同研究拠点として、防災研究所が特に計画的に推進すべき研究プロジェクトであり、災害に関する学理と防災の総合的対策を目的として、新たな研究課題の提案、研究組織、研究ネットワークなどを形成し、この研究を基礎として将来的に拠点をさらに発展させようとする研究です。

研究種目	研究課題	研究代表者／所属部門
一般推進	陸上を遡上する巨大津波に対する数値予測モデルのベンチマーク実験を通じた建物・市街地の津波脆弱性評価に関する研究拠点形成	平石 哲也／流域災害研究センター
	2ST-SPAC法の国際共同実験－斜面における新しい地下構造探査手法の検証－	釜井 俊孝／斜面災害研究センター
	想定南海地震の広帯域強震動予測と地震被害想定の高高度化に関する研究	岩田 知孝／地震災害研究部門
特別推進	建物監視システムを活用した被災建物利害関係者間の補修等合意形成支援	中島 正愛／地震防災研究部門

**8 特定研究集会** 防災研究所の研究者がリーダーシップをとって実施する、プロジェクトの立案等の企画を目指した研究集会です。

研究集会名称	研究代表者／所属部門	開催予定日*
Disaster risk reduction and water harvesting of flash floods in the Arab region: Egypt and Saudi Arabia	Sameh Kantoush／水資源環境研究センター	平成27年10月16日
日本－台湾共同防災科学セミナー	中川 一／流域災害研究センター	平成27年12月7日～9日
火山学における人材育成 —過去20年の振り返り今後20年を展望する—	井口 正人／火山活動研究センター	平成27年7月20日
第6回総合防災に関する国際会議	横松 宗太／巨大災害研究センター	平成27年10月28日～30日
強震動予測の高精度化に関する共同プロジェクト立案のための日欧共同研究集会	松島 信一／社会防災研究部門	平成27年8月20日～21日

\* 研究集会の開催日は変更される可能性があります。防災研HPで最新情報をご確認ください。